

平成 28 年 6 月 3 日
総務省行政管理局公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
「進路相談等部外委託」の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

記

I 事業の概要等

事 項	内 容
事業概要	退職が予定されている自衛官（以下「退職予定隊員」という。）に対し、キャリア・カウンセラーの資格を保有する部外の専門家による就職及び生活設計に関する相談業務
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
受託事業者	一般財団法人自衛隊援護協会
契約金額（税抜）	212,352 千円（単年度当たり：70,784 千円）
入札の状況	2 者応札（説明会参加＝4 者／予定価内＝2 者）

II 評価

1 評価方法について

防衛省から提出された平成 26 年 4 月から平成 28 年 3 月までの間の実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から評価を行う。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

事 項	内 容			
確保されるべき 質の確保状況	以下のとおり、適切に履行されている。			
	ア 利用者アンケート調査			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>確保されるべき水準</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路相談等業務が適切に実施されていたか。相談員を利用した退職予定隊員に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（年度ごと）</td> <td>平成 26 年度及び平成 27 年度において、肯定的回答が 99%以上である。</td> </tr> </tbody> </table>	確保されるべき水準	評価	進路相談等業務が適切に実施されていたか。相談員を利用した退職予定隊員に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（年度ごと）
確保されるべき水準	評価			
進路相談等業務が適切に実施されていたか。相談員を利用した退職予定隊員に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（年度ごと）	平成 26 年度及び平成 27 年度において、肯定的回答が 99%以上である。			

	イ 現地監督官アンケート調査	
	確保されるべき水準	評価
	進路相談等業務が適切に実施されていたか。現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。
	退職予定隊員対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。
	その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。
	委託業務に関する記録が整備・報告されていたか。現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。
民間事業者からの改善提案	<p>○ 相談員の業務について理解の促進を図るため、毎年度当初から相談員の配置駐屯地や近傍の駐屯地等において、退職予定隊員の指導監督の地位にある部隊長等を計画的に巡回訪問し業務の説明を行った。</p> <p>○ 利用者の利便性向上のため、相談員の配置駐屯地等の特性及び退職予定隊員の希望等を考慮して現地監督官と調整の上、昼休み等の時間帯において厚生施設等の利用者が相談を受けやすい場所に相談窓口の開設場所を移動した。</p>	

3 実施経費（税抜）

従前経費	89,600千円（平成25年度）
実施経費	70,784千円（平成26年度から平成28年度までの平均経費）
削減額	18,816千円
削減率	21%

4 評価のまとめ

業務の実施にあたり確保されるべき達成目標として設定された質については、全て目標を達成していると評価できる。

また、民間事業者の改善提案により、巡回訪問による業務説明及び相談窓口の開設場所の移動等、民間事業者のノウハウと創意工夫の発揮が業務の質の向上に貢献したものと評価できる。

実施経費についても、21%の経費削減が図られており、公共サービスの質の維持向上、経費の削減の双方の実現が達成されたものと評価できる。

5 今後の方針

本事業の市場化テストは今期が1期目であり、事業全体を通じての実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中に受託民間事業者への業務改善指示等の措置はなく、また法令違反行為等もなかった。
- ② 外部有識者による事業実施状況のチェックを受ける予定である。
- ③ 入札において、2者の応札であり、競争性が確保されていた。
- ④ 確保されるべき公共サービスの質において、全ての目標を達成していた。
- ⑤ 経費削減において、従来経費からの削減率21%の効果を上げていた。

以上のことから、本事業については「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1. (1)の基準を満たしており、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

市場化テスト終了後の事業実施については「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」の対象から外れることとなるものの、これまでの官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続き及び情報開示に関する事項等を踏まえた上で、防衛省が自ら公共サービスの質の維持向上及びコストの削減を図っていくことを求めたい。

平成28年5月25日
防 衛 省

民間競争入札実施事業
進路相談等部外委託の実施状況について

1 事業の概要

(1) 事業内容

本事業は、若年定年制の自衛官であって定年、応募認定等により退職が予定されている自衛官又は任期制の自衛官であって任期満了等により退職が予定されている自衛官（以下「退職予定隊員」という。）に対し、キャリア・カウンセラーの資格を保有する部外の専門家による就職及び生活設計に関する相談業務を実施するものである。

(2) 契約期間

平成26年4月1日から平成29年3月31日までの間

(3) 受託事業者

一般財団法人自衛隊援護協会

(4) 受託事業者の決定経緯

進路相談等部外委託民間競争入札実施要項（以下「実施要項」という。）に基づき、入札参加者2者から提出された提案書について審査した結果、評価基準を満たしていた。平成26年2月20日に開札を行った結果、予定価格の範囲内であり、入札額が最も低い上記の受託事業者を落札者と決定した。

2 確保されるべき質の達成状況及び評価

(1) 調査方法

実施要項に基づき、受託事業者が実施したアンケート調査の結果並びに受託事業者が航空自衛隊に報告すべき事項及び航空自衛隊の指示により講ずべき事項の状況を確認し、事業の実施状況を調査した。

(2) アンケート調査

ア 利用者アンケート調査

事 項	水 準	調 査 結 果
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	相談員を利用した退職予定隊員に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答80%以上（年度ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が99%以上である。 (詳細は別紙のとおり。)

イ 現地監督官アンケート調査

事 項	水 準	調査結果
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。 (詳細は別紙のとおり。)
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。 (詳細は別紙のとおり。)
その他の就職支援業務支援が適切に実施されていたか。	現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。 (詳細は別紙のとおり。)
委託業務に関する記録が整備・報告されていたか。	現地監督官に対するアンケート調査で「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答 80%以上（四半期ごと）	平成26年度及び平成27年度において、肯定的回答が100%である。 (詳細は別紙のとおり。)

(3) 評価

アンケート調査において、サービスの確保されるべき質として実施要項に定めたすべての事項について、「適切である」又は「おおむね適切である」の肯定的回答80%以上の評価水準を確保しており、サービスの確保されるべき質は達成されていると評価できる。

受託事業者が航空自衛隊に報告すべき事項については、仕様書に定める「進路相談等業務作業記録表」、「進路設計相談員業務実施状況報告」等の提出書類により適切に報告されている。また、航空自衛隊が事業の適切かつ確実な実施を確保するため受託事業者に対し、調査又は指示を行ったことはなく、航空自衛隊の指示により講ずべき事項の該当はない。

3 受託事業者からの改善提案による改善実施事項

受託事業者からの創意工夫により、以下の改善が図られた。

- (1) 相談員の業務について理解の促進を図るため、毎年度当初から相談員の配置駐屯地や近傍の駐屯地等において、退職予定隊員の指導監督の地位にある部隊長等を計画的に巡回訪問し業務の説明を行った。

- (2) 利用者の利便性向上のため、相談員の配置駐屯地等の特性及び退職予定隊員の希望等を考慮して現地監督官と調整の上、昼休み等の時間帯において厚生施設等の利用者が相談を受けやすい場所に相談窓口の開設場所を移動した。

4 経費に関する評価

民間競争入札実施前の平成25年度における契約額（契約期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日）と本事業の契約額212,352千円（契約期間：平成26年4月1日から平成29年3月31日）の単年度当たりの額との比較は以下のとおりであり、平成25年度の契約額から21%の削減効果が得られた。

民間競争入札実施前の平成25年度の契約額（A）	本事業の契約額の単年度当たりの額（B）	削減額（A－B）	削減率
89,600千円	70,784千円	18,816千円	21%

（注）契約額は税抜き額

5 評価の総括等

(1) 評価の総括

本事業において確保されるべきサービスの質については、アンケート調査の結果からいずれの項目においても肯定的回答が全体の約99%を超えており、サービスの質の維持・向上が図られるとともに、適切に業務が実施されていると評価できる。また、受託事業者の創意工夫の発揮により利用者の利便性の向上のための取り組み等が行われており、サービスの質の維持・向上に貢献していると評価できる。実施経費についても、民間競争入札の実施による複数年契約としたことにより、従前の契約額に比べ1年当たり21%の削減を達成しており、経費の削減が図られていると評価できる。

(2) 要件該当性

本事業の全体の実施状況については、市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針（平成26年3月19日。官民競争入札等監理委員会）に定める市場化テスト終了プロセスへの移行基準に以下のとおり該当している。

- ① 実施期間中に受託事業者が業務改善指示等を受けたり、業務に係る法令違反行為等を行ったことはなかった。
- ② 次期事業については、外部の有識者等による実施状況のチェックを受ける予定である。
- ③ 入札には2者の応札があり、競争性が確保されていた。
- ④ サービスの確保されるべき質に係る目標は全て達成している。
- ⑤ 実施経費については、民間競争入札実施前の契約額から21%の経費削減効果

を上げている。

6 今後の事業の方針

本事業については、良好な実施結果を得られており市場化テスト終了プロセスへの移行基準を満たしていることから、市場化テスト終了プロセスへ移行し、平成29年度以降の事業については、当省自ら公共サービスの質の維持・向上及びコストの削減を図っていくこととしたい。

アンケート調査実施結果

1. 利用者アンケート調査

①平成26年度

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	6,548	1,227	69	0	7,844	99.1%

②平成27年度

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	7,157	1,279	51	6	8,493	99.3%

※肯定的回答とは、「適切である。」及び「おおむね適切である。」の回答をいう。

2. 現地監督官アンケート調査

①平成26年度1/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	22	1	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	22	1	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

②平成26年度2/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	22	1	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	22	1	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

③平成26年度3/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	22	1	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	22	1	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

④平成26年度4/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	22	1	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

⑤平成27年度1/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	23	0	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

⑥平成27年度2/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	23	0	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

⑦平成27年度3/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	23	0	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

⑧平成27年度4/四半期

項目	適切である	おおむね適切である	余り適切でない	適切でない	合計	肯定的回答 (%)
進路相談等業務が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
退職予定隊員に対し、雇用・労働に関する情報が提供されていたか。	23	0	0	0	23	100%
その他の就職援護業務支援が適切に実施されていたか。	23	0	0	0	23	100%
委託事業に関する記録が整備・報告されていたか。	23	0	0	0	23	100%

※肯定的回答とは、「適切である。」及び「おおむね適切である。」の回答をいう。